

## 平成 27 年度 「地域共生プロジェクト」実践概要

### 1 学校の概要

本校は、各学年普通科 3 クラス、ライフデザイン科 1 クラスの計 4 クラスからなり、県立学校では唯一家庭に関する専門学科があることが大きな特徴である。校舎は「養正が丘」と呼ばれる小高い丘の上に建っており、自然が豊かで、また地元地域とのつながりも深く、非常に恵まれた教育環境にある。本校からわずかの距離に保育所、幼稚園、福祉センター、老人保健施設があり、ライフデザイン科の生徒を中心に様々な交流活動を行っている。

### 2 実践のねらい

乳幼児や高齢者、障がい者との異世代交流を通して積極的に他者と関わり、相手を理解し尊重する心や、思いやりの心を育む。また、活動を通して、主体性や自己肯定感を伸ばし、コミュニケーション能力を高める。

### 3 実践の内容

- (1) 小松東保育所・小松西保育所での乳幼児との交流学习（写真 1・2）
- (2) 知的障害者施設「しげのぶ清愛園」の利用者さんとの交流
- (3) 小松小学校 1 年生との交流
- (4) デイサービスセンターでの高齢者との交流（写真 3）
- (5) 西条市のイベントの手伝い等における他のボランティア団体や地域の人との交流



(写真 1)



(写真 2)



(写真 3)

### 4 成果と課題

本校では、普通科の 1 年生とライフデザイン科の生徒を中心に「地域共生プロジェクト」を実施した。普段の生活で接する機会の少ない、乳幼児や高齢者などとの異世代間の交流を通して、優しさや思いやりの気持ちを育てることができた。交流後の感想に「初めは子どもと上手く関われるか不安が多かったが、交流を終えてみると子どもに対するイメージが少し変わって自信がついた」「一生懸命準備していったレクレーションを楽しんでくれて次回への意欲につながった」などあり、体験を通して自分の中で何かが変わったり、成長できている部分に気付くことができたようだ。

課題としては、3 の (5) の地域ボランティアへの積極的な参加が少ないことがあげられる。部活動や他の行事との兼ね合いもあるが、もっと多くの生徒がさまざまな活動に積極的に参加し、日頃からお世話になっている地域への恩返しができるように考えている。